

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

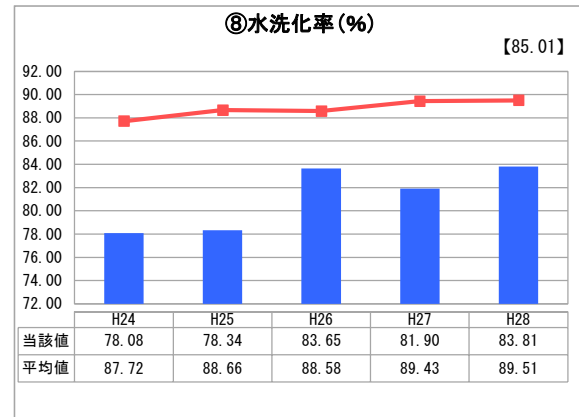
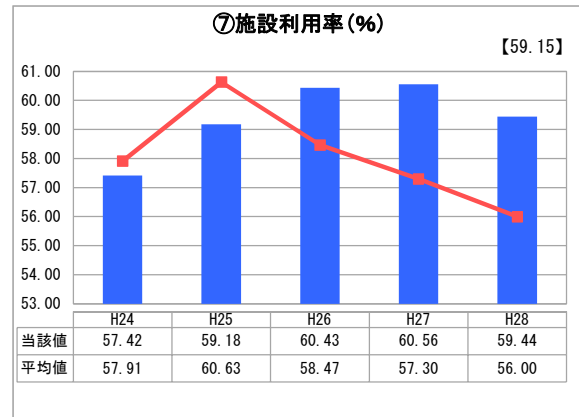
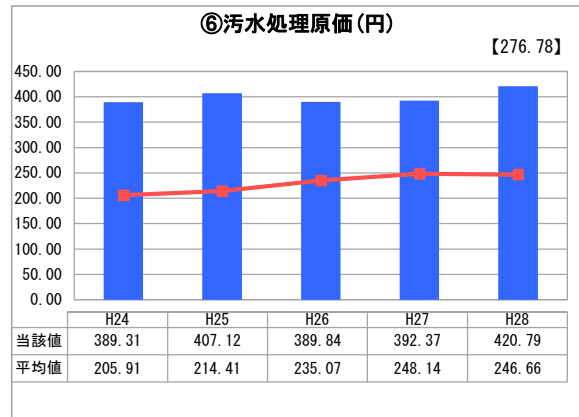
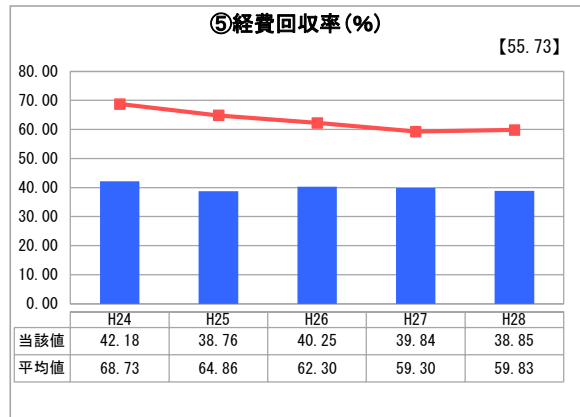
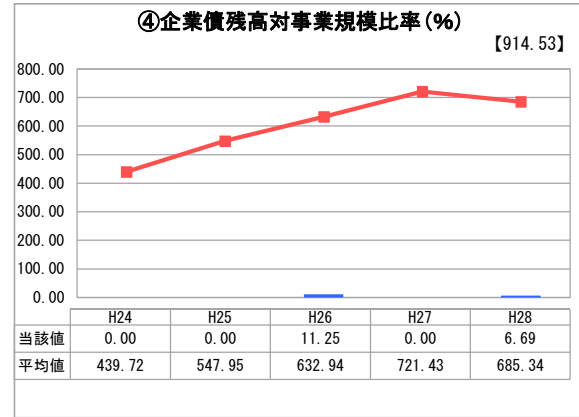
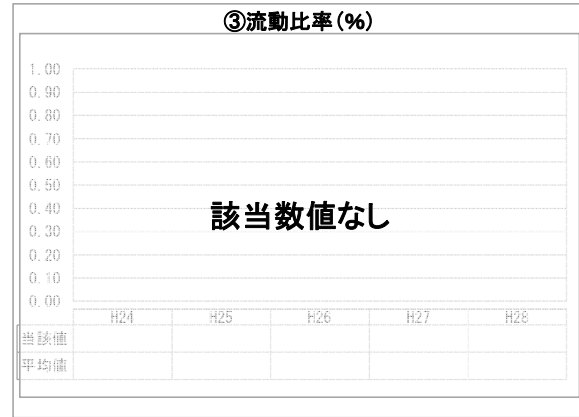
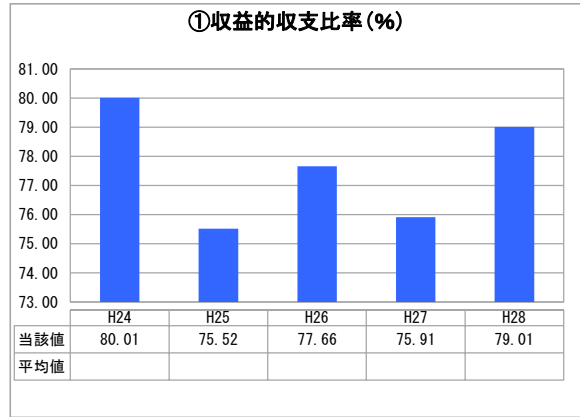
広島県 安芸高田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	15.41	86.84	3,348

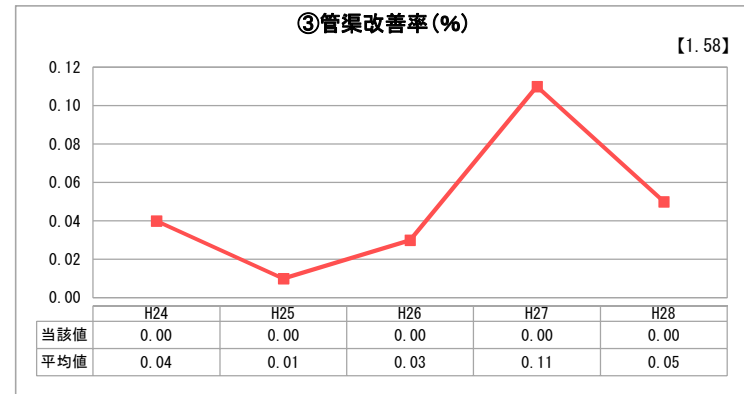
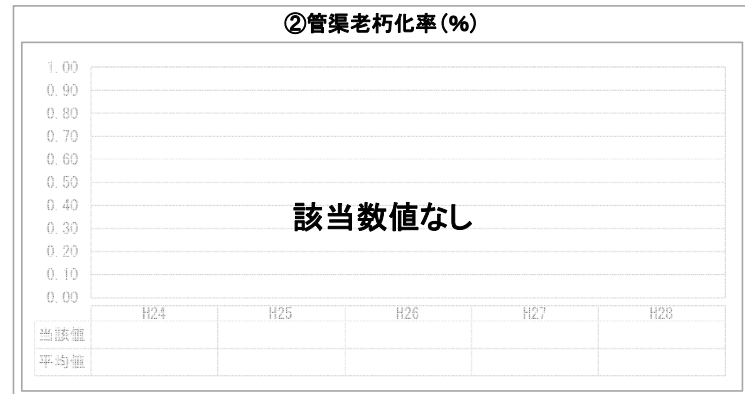
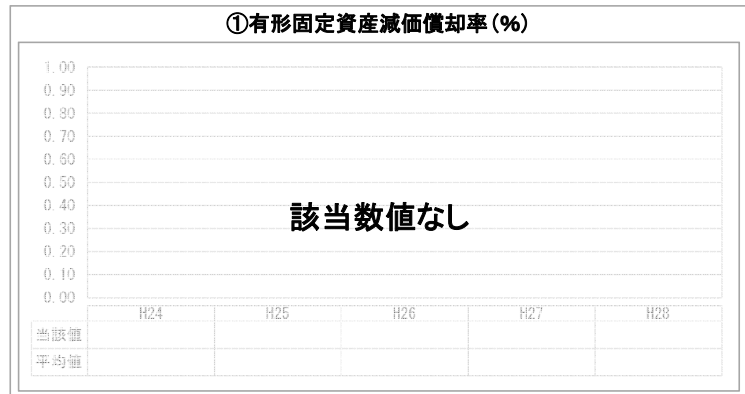
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
29,773	537.75	55.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,545	2.66	1,708.65

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

単年度の収支を表す「①収益的収支比率」はH28年度は79.01%と若干増加したもののこれまでに続き70%台後半を推移している。  
 使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した「⑤経費回収率」については、処理区域内人口の減少及び中山間地域特性の住居が点在していることから使用料収入の増加が見込めず38.85%と類似団体と比較しても低い数値となっている。  
 有収水量1m<sup>3</sup>あたりの汚水処理に要した費用を表した「⑥汚水処理原価」は、経年劣化等の理由から維持管理費用が増加し、前4年同様類似団体よりも高い数値で推移している。  
 施設や設備が一日に対応可能な処理能力に対する一日平均処理水量の割合を表した「⑦施設利用率」も人口減少の影響により前年より1%少ない59.44%となった。  
 現在処理区域内人口のうち実際に水洗便所を設置して汚水処理している方の割合を示す「⑧水洗化率」は、処理区域内の設置と人口減少のバランスから80%台前半を前年に引き続き推移している。

### 2. 老朽化の状況について

昭和56年度から供用開始しており、現在は施設の最適整備構想の策定を完了している。  
 今後は、この構想に基づいた計画的かつ効率的な更新を実施していく必要がある。

### 全体総括

平成28年度に策定した経営戦略に基づき、経営の健全性と効率性を高めるため、使用料改定による使用料収入の確保や加入促進による水洗化率の向上を進め、また施設については統廃合も含めた計画的な施設更新や維持管理を実施していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。